

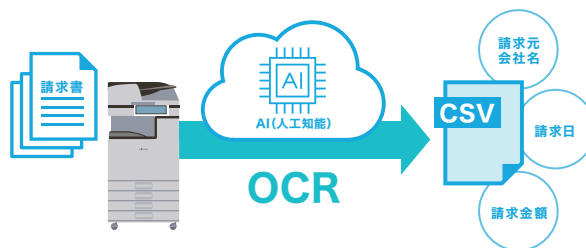
RICOH Cloud OCR for 請求書

お客様導入事例

アイサンテクノロジー株式会社
経営管理本部 財務会計部様

請求書支払処理工数50%削減に成功、 会計システムとの連携で経理業務を効率化

「RICOH Cloud OCR for 請求書」は、紙やPDFの請求書を文字データ化するクラウド型の AI帳票認識 OCRソリューションです。リコー独自の帳票解析技術と画像処理技術を搭載したAIが、請求書に記載された請求金額、請求日、請求元名称などの情報を自動認識。データ化した情報は、CSVファイルにて会計システムや銀行支払いシステムと連携できます。今回は昨年11月に「RICOH Cloud OCR for 請求書+BPOサービス」を導入された、アイサンテクノロジー株式会社 経営管理本部 財務会計部様に、導入の背景や導入の効果、今後の展望についてお聞きしました。



困りごと

- 1 毎月約200枚の請求書を処理するため、入力やチェック作業の負荷がかかっていた。
- 2 事業が拡大するにつれ煩雑化していた経理業務を特定の担当者が行っていたため、担当者が異動の際にブラックボックス化が露呈し、引継ぎにも時間がかかった。
- 3 煩雑になった業務をシステム化したいものの、コストがかけられないのが悩みだった。

解決

- 1 BPO付きのサービスを導入することで、請求書の入力やチェック作業を大幅削減。
- 2 直近の取引情報がプリセットされるので、担当者が異動しても、作業がスムーズ。
- 3 低価格なサービスなので、すぐに導入できることも大きなメリット。

* BPOサービス(ビジネス・プロセス・アウトソーシング・サービス)OCR結果の確認・修正をリコーがサポートするアウトソーシングサービスです。

アイサンテクノロジー株式会社 経営管理本部 財務会計部 様



アイサンテクノロジー株式会社

アイサンテクノロジー株式会社
経営管理本部本部長 取締役

曾我 泰典様

アイサンテクノロジー株式会社
経営管理本部財務会計部 課長

中村 宙史様

請求書入力の負荷削減と入力ミス削減、 経理業務の省人化を低コストで実現。

事業内容と部門の役割

経理業務の複雑化・細分化に 対応することが急務に。

●はじめにアイサンテクノロジー様の 会社概要と業務内容をお教えください。

曾我様 アイサンテクノロジー株式会社は、「測量」に関わるソフトウェアの開発を中心に、ハードウェアを組み合わせたソリューションを提供している会社です。1970年の設立で、今期が50期となります。創業当初はプログラミングできる関数電卓を販売していました。その中で、測量計算のプログラムを開発し、測量会社さんに使っていただいたところ、かなり高い評価をいただき、それが当社が測量設計・不動産登記の市場に参入したきっかけとなりました。

中村様 最近ではIoTの進化により3D計測が主流となってきており、当社でも本格的な3D対応に深化したソフトウェア開発とソリューションを提供しています。例えば、これまで地点の一点一点を測っていた作業を、GPSやカメラ、スキャナ搭載のクルマを走らせるだけで周辺を三次元測量できる「モバイルマッピングシステム(MMS)」というものがあるのですが、これをベースに、自動車の自動運転技術の分野など新しい事業分野にもチャレンジしています。

●経営管理本部財務会計部様の 主な役割と人員構成をお聞かせください。

中村様 財務会計部の人員は4名です。業務内容は支払い請求書の管理と、売上の入出金の確認。あとは経営の数字上の管理。業績の報告や税金等々の計算も含めて、会社内の数字全体を管理する業務です。

曾我様 当初は開発したソフトウェアをパッケージ販売していたため、経理業務もシンプルだったのですが、事業が拡大していくにつれ、複雑になってきています。例えば、「地図を作る」という請負業務をやっているのですが、案件ごとにどれくらいの原価がかかり、いくら利益が出たかを追いかけていくため、煩雑化してますね。

導入の背景

1カ月に約200通の請求書を、 2名が手入力でデータ化。

●「RICOH Cloud OCR for 請求書」を 導入する以前の業務手順をお教えください。

曾我様 財務会計部で各部門に届く紙の請求書をすべて手入力でデータ化して、その次に仕訳データを作っていました。

中村様 2名体制で、1カ月に約200通の請

求書を入力していました。最終的には会計システムにインポートされるのですが、その前段階でExcelへの打ち込みと、入力内容のチェック作業をしていました。他にも業務はあるので、そこにばかり時間を取られるのも頭が痛かったですね。

●「RICOH Cloud OCR for 請求書」を導入 されるきっかけはどのようなことでしたか。

曾我様 事業が拡大するなかで経理業務も煩雑化してしまったため、経理のシステムを全体的に見直そうということになりました。請求書は件数が多く、フォーマットも異なり、届くタイミングもバラつきがあるため、月初の2～3日は大変でした。そこを何とか自動化したいという思いがありました。仕訳作業などが複雑になってしまっていたので、経理担当者が異動した際にも、業務内容がブラックボックスにならない、汎用的なものにしたいという気持ちもありました。でも請求書をデータ化するのに、あまりコストもかけられない。そんな折にリコーからのメールマガジンが届き、「RICOH Cloud OCR for 請求書」のサービス開始案内が目にとまって。これだ!! と思い、すぐに連絡しました。

導入の効果

請求書入力作業の50%以上の削減効果を実感。

●「RICOH Cloud OCR for 請求書」を導入されてからの印象はいかがでしたか。

曾我様 請求書入力やチェックの負荷削減という効果が、最も大きかったと感じています。「RICOH Cloud OCR for 請求書」に期待したのは、請求書入力の負荷削減と入力ミスの削減や経理業務の省人化などです。業務効率化を目的に導入しているため、できる限り省力化したいという思いがありましたので、BPO付きのプランにしました。

中村様 請求書入力の負荷としては、50%以上は削減できていると思います。現状は、日付、金額、部門名・部門コード、勘定科目名・科目

コード、摘要内容などを抽出しています。また、OCRでデータ抽出をした後、取引先情報を手入力しているのですが、前月と同じ内容であれば、直近の取引情報がプリセットされるので、翌月以降はたいへんラクになりますね。前月情報が引き継がれるのは、異動で担当者が代わった際などに心強い点にもなります。

●導入はスムーズに進みましたでしょうか。その後の効果はいかがでしたか。

中村様 最初に操作について説明を受け、そのまま稼働できました。その説明で理解できず、画面を見れば分かるので、操作の難しい部分はありませんでした。

曾我様 消費税の税率が変わったタイミングで、税金関係の数字の設定でちょっと迷ったくらいでしょうか。トライアルの期間、検証ができたので大丈夫でした。

会計システムとの連携が、さらなる効率化へのカギ。

●「RICOH Cloud OCR for 請求書」にご要望はありますか。

中村様 仕訳データを直接、会計システムに取り込むのですが、いくつか項目がないものがあります。付加情報をつける作業が発生しているので、ここが連携することができれば、かなり助かりますね。

曾我様 いろいろなマスタと会計システムが繋がっていないので、それらを自動的に繋げられるようになると効率的ですね。

今後の展望

AIで出来ることは、AIに任せて、人間は確認するだけが目標

●「RICOH Cloud OCR for 請求書」の今後の展望などありましたら教えてください。

曾我様 ビジネスが拡大するなか、全社的にも業務効率化・汎用化が重要な課題となっています。これまで人にノウハウを蓄積していたものが、「RICOH Cloud OCR for 請求書」が代わりにそれを蓄積してくれると思うと、これからが楽しみです。また、将来はAIでできることはAIに任せて、人間は確認するだけというのが最終的な目標ですね。



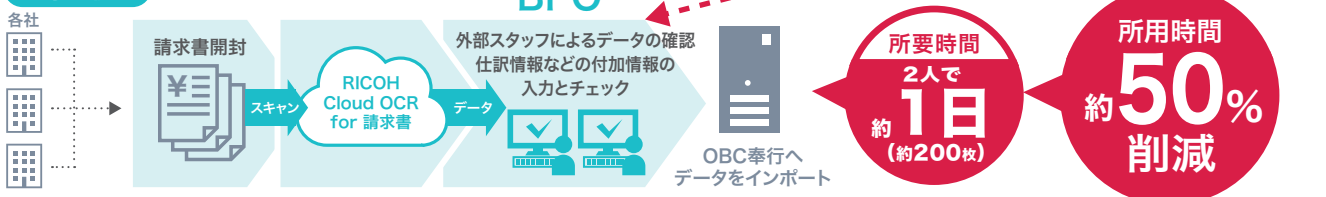
異なる請求書のフォーマットも複合機にセットして一括でスキャンすることで、記載された情報を自動的に抽出します。

「RICOH Cloud OCR for 請求書」で、入力時間の大幅短縮とBPOによるミスの軽減を実現

導入前



導入後



- 請求書入力作業の50%以上を削減
- 帳票ごとに直近の取引情報がプリセットされるので、担当者が代わっても作業がスムーズ
- 低価格なのですぐに導入可能

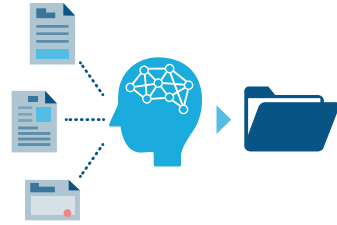
RICOH Cloud OCR for 請求書

AI(人工知能)+OCRで請求書の入力処理業務を大きく改善!

カンタン操作で請求書情報をデータ化する、リコーのクラウド型OCRソリューション

請求書の記載情報をAIで自動抽出

請求書のフォーマットは企業によって千差万別。RICOH Cloud OCR for 請求書のAI技術は、請求書のフォーマットが変わっても、請求書に記載された情報を自動的に抽出します。



クラウド型サービスなので低コスト

月々15,000円(消費税別)から利用可能。クラウド型サービスなので、大きな初期投資は不要。いつでも始めやすく、コストを抑えた運用が可能です。



カンタン操作で入力業務の負担を軽減

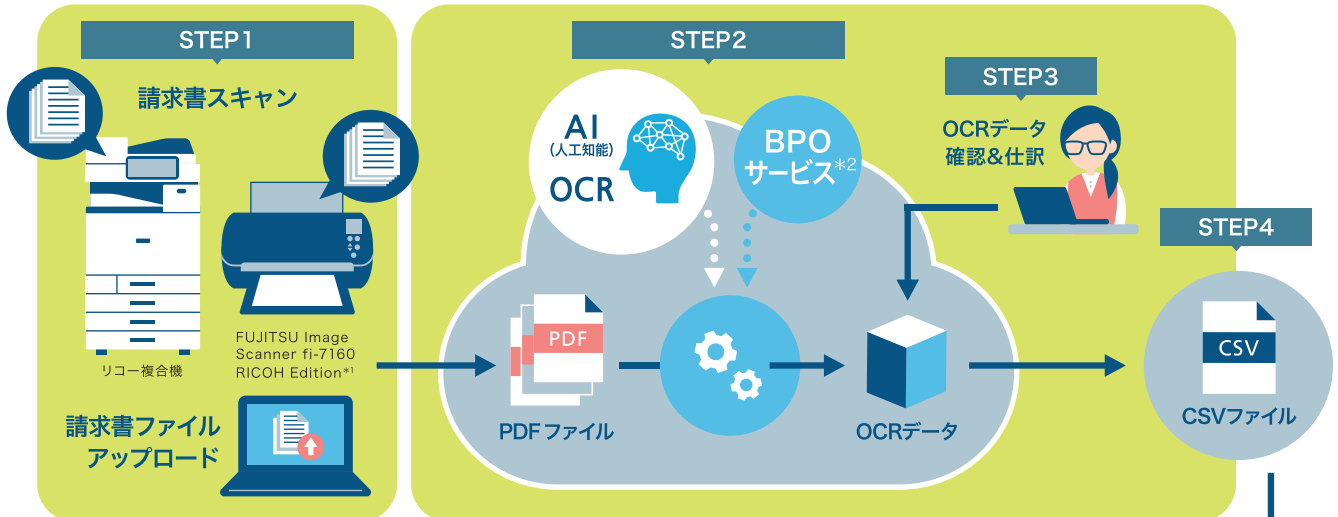
紙の請求書を複合機でスキャン、またはPDFの請求書をクラウドにアップロードするだけでカンタンにデータ化。入力業務の負担を大幅に減らします。

安心のサポート体制

専任のサポートスタッフが運用上のお困りごとやお問い合わせに対応するので、安心してご利用いただけます。

「人の目」によるBPOサービス

深刻化する人手不足を解消するためにBPOサービス*を加えたラインナップもご用意しています。AI(人工知能)による請求書処理に加え、人の目で確認/修正を実施。OCR処理したデータの精度をより一層高めます。



*1 FUJITSU Image Scanner fi-7160 RICOH Editionから自動的にアップロードするには、パソコンに「RICOHクラウド ファイルアップローダー」を設定しておく必要があります。

STEP1 紙やPDFの請求書を「RICOH Cloud OCR for 請求書」にアップロード

STEP2 アップロードした請求書は、AIが自動認識し一括データ化

STEP3 OCRした結果の確認、修正および確定処理を実行

STEP4 確定したデータはCSVファイルに出力。会計システムなどの後方処理へ連携

これまで請求書の内容を確認しながら手作業で行っていた、入力業務の手間や時間を大幅に削減できます。

* BPOサービス(ビジネス・プロセス・アウトソーシング・サービス): OCR結果の確認・修正をリコーがサポートするアウトソーシングサービスです。

※本事例カタログ内の説明画面と実際の画面の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。 ※ 詳しい商品・サービス等の内容については、販売担当者にご確認ください。
※Microsoft、Windows、Office 365、Excelは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
※Adobe PDFは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。 ※その他の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

RICOH リコージャパン株式会社
imagine. change. 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
〒105-8503

<https://www.ricoh.co.jp/service/cloud-ocr/>

●お問い合わせ・ご用命は・・・